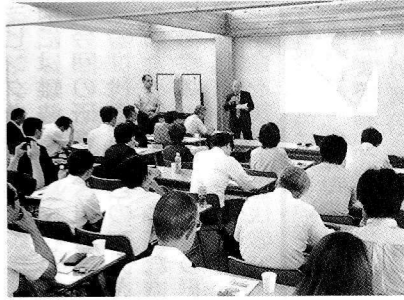


センダン植林シンポジウム

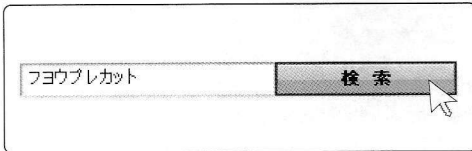
林野庁も本腰 平林で開催

(公財)日本加工技術協会関西支部早生植林材研究会・(二社)平林会共催のシンポジウム「国産早生樹植林センダン植林とその実践」が7月24日(金)午後1時30分より住之江区平林南の大阪港木材倉庫(株)2階大会議室において60人強が参集して開催された。「センダン植林」をメインテーマにしたシンポジウムは昨年に続いて2回目。



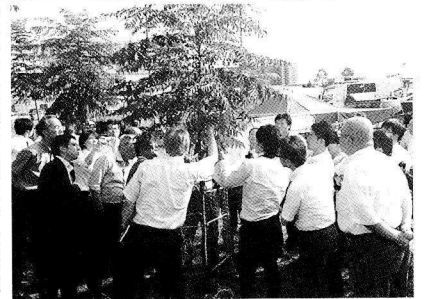
セミナー。挨拶するのは村上理事長

すでに両者は一昨年4月、(一社)平林会が大阪市的一般競争入札(プロポーザル方式)によって落札した平林テニスコート跡地道路沿い(5m×70m)に10本、京都府立大学大野演習林に10本植林しており、今年に入ってから



平林に10本、兵庫県宍粟市に約200本、他の地域を巻き込みながら「センダン植林」の範囲は急速に広がっている。センダン植林が加速する大きな要因の一つが林野庁と京都府立大学の存在。特に地元(近畿中国森林管理局(局長・青木庸三氏))が「27年度重点取組事項」の中に「センダン植林」を明文化して担当セクションまで設置、連携協定を結ぶ京都府大との共同試験・研究を進める姿勢を前面に押し出している。

シンポジウムは京都府立大学の宮藤久士准教授が司会を担当、冒頭、村上高児平林会理事長が「ようこそ平林へ。日本で一番森林の少ないここ大阪から早生樹センダンを発信する、大変有意義なことです。平林は一体となって業界・地域の発展に尽くします」と力強く



芽かきの実習。平林テニスコート跡地

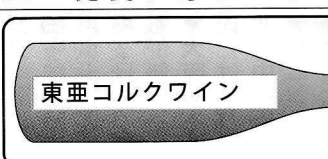
まず近中局の片山宏文課長が「近中局がなぜ早生樹植林に着目し、今後のどのような取り組みでいくのか」をテーマに、同局が取り組む諸施策を説明したあと木材価格の低迷による産地の疲弊克服に向け「今までのような生産者からの一方通行ではなく、川下の企業ニーズを踏まえながらセンダン・コウヨウザン等の早生樹植林を積極的に推進したい」と話した。すでに九州

森林管理局管内ではコウヨウザンの分収造林が始まっており、同氏は「センダンでも分収造林による企業参加もありうる」としてセンダンの可能性を示唆した。

続いて熊本県天草の指導林家福田国弘氏が約20年前、広葉樹の特徴である「枝分かれ」を「芽かき施業(開発者は父上の故福田富治氏)」によって通直材にする技術を開発、後述する横尾謙一郎氏(熊本県林業研究所員)らの協力を得て育成、福岡県大川において家具・ツキ板の試作にまでこぎつけた研究成果を発表した。さらに同氏は、センダンが短期伐採を目的とすることから「栽培林業的な側面がある」として、従来型の長期的な林業経営から農業的手法を取り入れた林業経営の可能性について言及した。

熊本発のセンダンの仕掛人横尾謙一郎氏は、センダンの「植栽適地」を中心にこれまでの研究データを発表したあと植林には避けては通れない病虫害対策等の諸問題を提起、今後の植林への注意を促した。

最後の講師は日本木材加工技術協会早生植林材研究会の村田功二京大助教、テーマは「センダン材の工業的利用」。産業用植林としてスタートしたセンダンが果して工業的な利用価値があるのか否か。緒について問がないセンダンのサンプルは極めて少なく、今後の生産量も未知数だ。村田氏はまずセンダンが日本(中国含む)では古来からケヤキやキリの代用として使われてきた事実を文献等から紹介したあと「植林木を中心に自生林も利用して一次加工適性試験(製材・乾燥・ロータリー・リース・チップ等)を行い、その結果を踏まえて2次加工(製材品・合板・LVL・PB等)について検討を加えたい」と述べ、世話人企業以外の積極参加を呼びかけた。



少憩後、メンバーは1年前に実施した平林の植林地に移動、横尾謙一郎氏の指導のもと「芽かき」の实地指導を受けた。

8月26日は**ナイター市**
神戸木材市売協組

神戸長田区対藻島の神戸木材市売協組(代表理事・名村正治氏)は8月26日(休)開催の「普通市」を猛暑対策の一環として「ナイター市」に変更して開催する。当日は午後6時より名村浜から売り始める。なお、午後5時より市売会場にて豪華(?)軽食を用意、来市者には中元粗品を進呈する。

【地域別】○首都圏2万8849戸(15.7%増)○中

4063戸(27.7%増)◆

神奈川5073戸(3.9%減)

1万1160戸(同2.9%減、

4063戸(27.7%増)◆

神奈川5073戸(3.9%減)

14か月連続の減少。分譲一

4063戸(27.7%増)◆

神奈川5073戸(3.9%減)

戸建ての減少幅が狭まり、分

4063戸(27.7%増)◆

神奈川5073戸(3.9%減)

譲マンションは好調。

4063戸(27.7%増)◆

神奈川5073戸(3.9%減)

と量産型プレカットCAD/CAMによる生産管理システム **角野産業株式会社**

便利な **カクノプレカット**

レカット・羽柄プレカット・合板プレカット

●加工材の確認・工場見学も大歓迎

プレカット事業部 〒596-0012 岸和田市新港町7-11 (馬場所長) TEL0724(37)6006 FAX0724(37)6008

本社 〒590-0083 堺市堺区出島海岸通り4-5-29 TEL072(247)0011 FAX072(247)0016

アクセスは阪神高速湾岸線岸和田北出口すぐ

会株国

別挽材・集成材

付売 外材製品